

経営比較分析表（令和5年度決算）

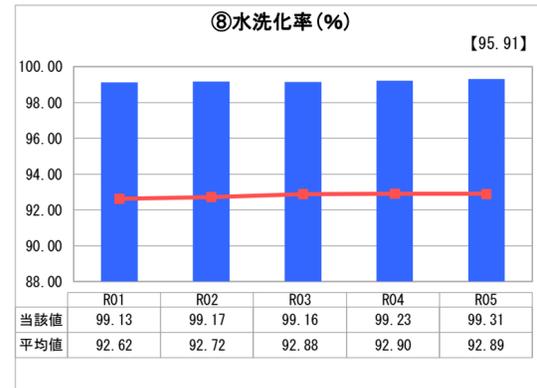
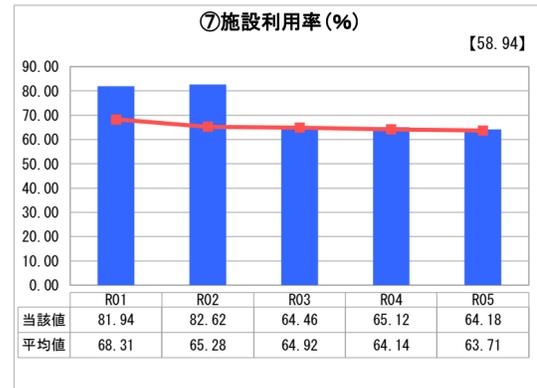
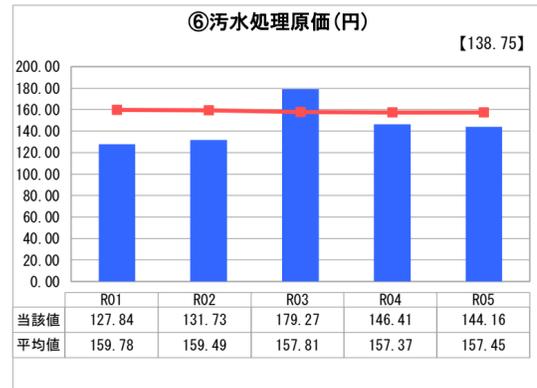
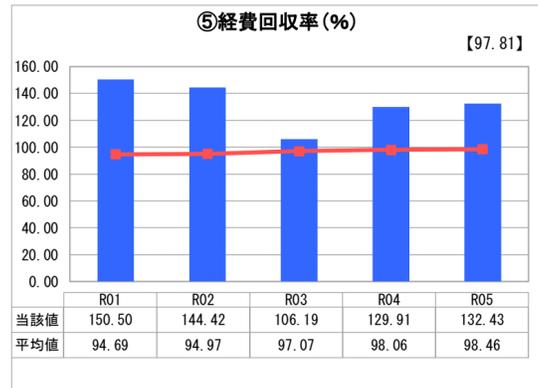
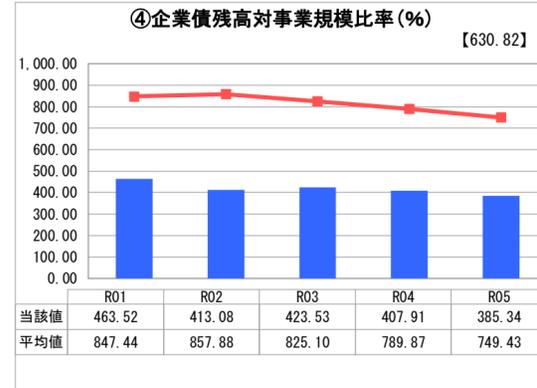
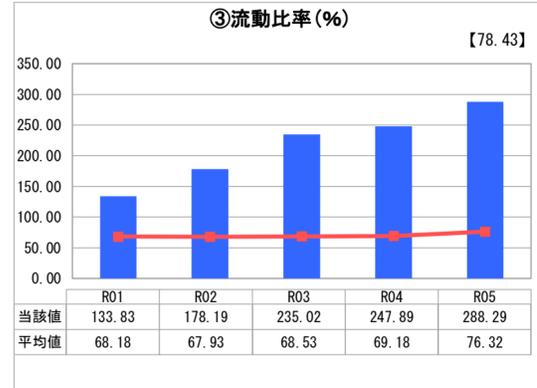
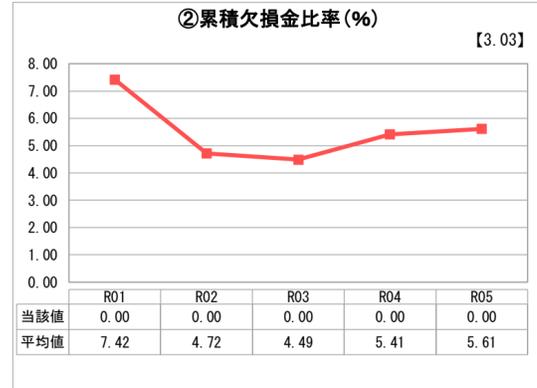
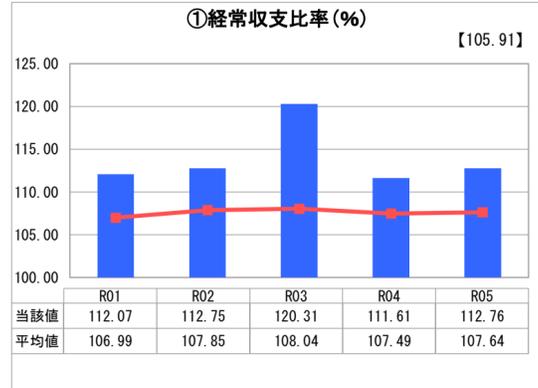
北海道 岩見沢市

| 業務名 | 業種名 | 事業名 | 類似団体区分 | 管理者の情報 |
|-----------|-------------|--------|--------|--------------------------------|
| 法適用 | 下水道事業 | 公共下水道 | Bd1 | 非設置 |
| 資金不足比率(%) | 自己資本構成比率(%) | 普及率(%) | 有収率(%) | 1か月20m ³ 当たり家庭料金(円) |
| - | 81.21 | 88.61 | 58.01 | 3,477 |

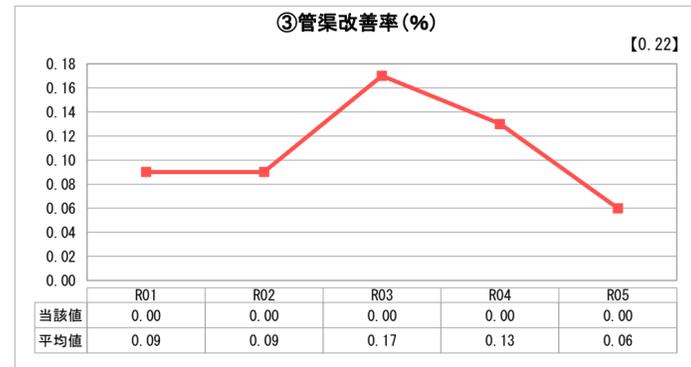
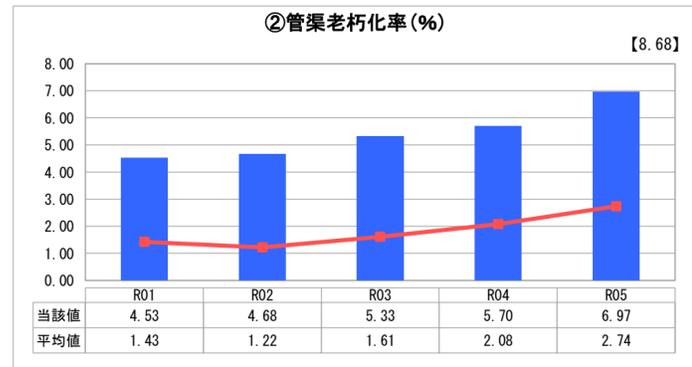
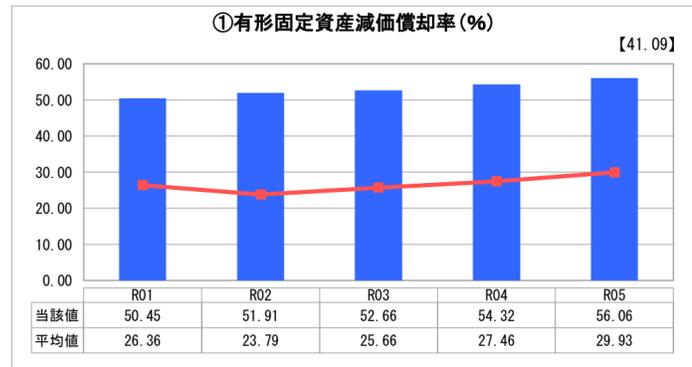
| 人口(人) | 面積(km ²) | 人口密度(人/km ²) |
|------------|--------------------------|-------------------------------|
| 75,522 | 481.02 | 157.00 |
| 処理区域内人口(人) | 処理区域面積(km ²) | 処理区域内人口密度(人/km ²) |
| 66,393 | 23.64 | 2,808.50 |

| グラフ凡例 | |
|-------|--------------|
| ■ | 当該団体値(当該値) |
| — | 類似団体平均値(平均値) |
| 【 | 令和5年度全国平均 |

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率は、類似団体平均を上回るとともに、100%以上となっていることから、収支は健全な水準にあります。
- ② 累積欠損金比率は、累積欠損金が発生していないため0%となり、健全な状態にあります。
- ③ 流動比率は、類似団体平均を上回るとともに、100%以上となっていることから、短期債務に対する支払い能力には問題ないものと考えられます。また、流動負債の減少により、近年、上昇傾向にあります。
- ④ 企業債残高対事業規模比率は、類似団体平均を下回っています。
- ⑤ 経費回収率は、類似団体平均を上回るとともに、100%以上となっていることから、経営に必要な経費を使用料で賄うことができています。
- ⑥ 汚水処理原価は、類似団体平均を下回っており、効率的な汚水処理が実施されていると考えられます。
- ⑦ 施設利用率は、類似団体平均を上回っており、処理場の規模は過大にはなっていないと考えられます。
- ⑧ 水洗化率は、類似団体平均を上回り、同水準で推移しています。

2. 老朽化の状況について

- ① 有形固定資産減価償却率は、類似団体平均を上回り、施設の老朽化が進んでいます。
- ② 管渠老朽化率は、類似団体平均を上回り、耐用年数を経過した管渠が多くなっています。
- ③ 管渠改善率は、平成30年度より処理場等の更新を優先して進めているため、数値は0%となっています。

全体総括

現在のところ、健全かつ安定的な経営を行っているといえますが、人口減少等による使用料収入の減少が見込まれる中で、老朽化が進む施設の更新を進めていく必要があり、経営の健全性の確保が必要となります。

そのため、岩見沢市下水道事業経営戦略に基づいて、国の交付金事業であるストックマネジメント支援制度を活用し、老朽化した下水道施設のダウンサイジングを図りながら、改築・更新を効率的に進めてまいります。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。